

5. 生涯学習を通じての自己実現（オリンピックキャンプ誘致活動）

Q8. 本市における誘致活動について

A8. (答弁:教育委員会理事)



モンゴルのセルオド・バトオチル選手

本市において、平成32年に開催される東京オリンピックに向け、岐阜県海津市にある長良川レガッタコースに、ボート競技事前キャンプを誘致することを目標とし、桑名市、愛西市、海津市の三市合同で、東京五輪ボート競技事前キャンプ誘致委員会を先月21日に発足し、3月末に公益社団法人オリンピック委員会並びに東京五輪組織委員会などへ誘致活動を行うところ。議員提案の、市と企業のコラボレーションによるオリンピック誘致活動については、貴重な提案として受け止め、各関係機関と協議し検討していく。



ケニアのエドワード・ワウエル選手

総務政策委員会 視察報告

1. 市役所本庁舎耐震補強事業

災害時における来庁者の安全確保、行政機能の保全、防災拠点としての機能確保のため、本年6月の完了を目途に市役所本庁舎耐震補強工事を進めています。



柱をカットし、天然ゴム系積層ゴムをいれていました。



受水槽・高架水槽改修工事も災害時対応で耐震補強されています。

2. 桑名方面団 第9分団車庫兼詰所

老朽化した消防団車庫兼詰所を更新し、大規模災害時に災害活動の拠点としての機能を確保する。

桑名方面団第9分団（在良地区）車庫兼詰所（昭和48年11月）

建設予定地：桑名市大字増田字馬淵604の3番地（旧西分署跡地）



愛敬重之後援会に関するお問い合わせは下記までお願いいたします。

<愛敬重之後援会>

〒511-8678

三重県桑名市大字東方字土島 2454

NTN 労働組合桑名支部内

TEL 0594-21-3681 FAX 0594-22-5834

公式HP <http://www.aikyo-kuwana.net/>



愛敬重之



後援会だより

2014年4月11日

第32期_後援会35号

発行責任者：愛敬重之後援会

会長 伊藤 久志

桑名市を、明るく元気な街に。

スポーツ活動を通して、皆さまの声を市政に反映させます。

皆さんこんにちは。

早いもので今年も桑名市議会議員選挙が実施されます。定数についても30人から26人と4人減となる選挙となります。日頃の活動につきましては、いつもあたたかいご支援、ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、平成26年第1回市議会定例会では、「社会福祉の充実・都市の健康づくり・活力ある産業の振興・豊かな人間性を育む人づくり・生涯教育を通じての自己実現」と様々な分野から一般質問を実施しました。

また、総務政策委員会での視察がありましたので写真を中心に報告します。



報告内容

桑名市市議会一般質問

1. 思いやりのある社会福祉の充実
2. 生涯にわたる健康づくりの推進
3. 活力ある産業の振興（桑名市ブランド・産業・観光クラスターの連携）
4. 豊かな人間性を育む人づくり
5. 生涯学習を通じての自己実現（オリンピックキャンプ誘致活動）

総務政策委員会 視察報告

1. 市役所本庁舎耐震補強事業
2. 桑名方面団 第9分団車庫兼詰所

桑名市市議会 一般質問

1. 思いやりのある社会福祉の充実

Q1. 広報くわな掲載の測定データ（30秒間椅子からの立ち上がり）以外の効果

A1. (答弁:副市長)

具体的には、「桑名いきいき体操」を6ヶ月以上継続した者を対象として、その前後で体力測定値を比較したところ、①脚力を測定する「椅子からの立ち上がり」のほか、②歩行能力を測定する「障害物歩行」、③バランス機能を測定する「開眼片足立ち」、④柔軟性を測定する「長座体前屈」のいずれに関しても、おおむね維持ないし向上が確認された。

Q2. 『桑名いきいき体操』を利用して健康寿命を延ばす今後の方策

A2. (答弁:副市長)

「地域包括ケアシステム」の構築に向けて、健康増進事業と介護予防事業とが一体的に展開されるよう、保健センターと地域包括支援センターとの連携を強化する必要があるのではないかと考える。この点、中央保健センターの理学療法士が各地域包括支援センターに配置された保健師に一度は紹介をした「桑名いきいき体操」を、今後は実施効果のデータを踏まえ、さらに担当職員や健康推進員による伝達講習を実施するなどの、連携を図ることにより、介護予防事業の中でも、「桑名いきいき体操」を実践することが可能ではないかなど、「桑名いきいき体操」のより一層の普及のための方策も検討していく。

2. 生涯にわたる健康づくりの推進

Q3. 本市の目指す「都市の健康一人・まち・社会の健康づくり」とは、都市整備部、保健福祉部、経済環境部の視点から。

A3. (答弁:各部長) (都市整備部)

これまで本市の中心市街地、国道1号線、県道桑名港線、県道福島城南線(並木通り)、市道末広赤須賀線(八間通り)などの幹線道路において電線類の地中化や歩道の修景をおこない、安全で快適な、また景観に配慮した歩行者系道路の整備に取組み、そのネットワークの充実を図ってきたところ。今後においても、人々が出歩きたくなるような、魅力あるまちとなるよう、その手法を研究していきたいと考える。



(保健福祉部)

国の健康づくり運動の方針である、健康日本21(第2次)の理念の基に、当市でも、日常生活に制限なく生活出来る機関、健康寿命を延ばすことを目標にして、市民一人一人が健康づくりに取り組んでもらえる、各種健診や健康教育、健康相談、講演会などの、様々な事業を実施して、市民の健康づくりの支援に努めている。議員の言う、健康への関心が薄い層の方も含めた市民の方への健康増進のためには、部局単独での健康づくり施策だけでなく、関係団体との連携により、健康づくりへの動機付けや、継続へのモチベーション維持につながるものとする。今後、市民の方が健康づくりに取り組めるように、先進地の事例を研究していく。

(経済環境部)

「スマート・ウェルネス・シティ」においては、まちの賑わい、産業振興といった視点もまちづくりの重要な要因になってくる。歩きたくなるまちづくりにおいては、個店、商店街の魅力づくりや回遊性のある商業空間づくりを促進する上で、仮設商店街などを設置するのも一つの手段と考え、他市の事例も参考にし、今後、関係機関と相談、研究していきたい。

3. 活力ある産業の振興

(1)桑名市ブランド

Q4. 鋳物産業の活性化

A4. (答弁:経済環境部長)

ごはん釜については、開発に協力いただいた相模高校の「まごの店」でも販売していただけることになり、蚊やり器においては、「新・現代日本のデザイン100選」に選ばれ、海外の日本大使館などで展示会に出展される予定になっており、事業終了後も、「くわな鋳物」のブランド化に今後一層期待するものである。議員が提案する「家族企業見学会、親子体験ツアー」についても、実現すれば話題性があり、くわな鋳物のPRにも有効である。今後、鋳物組合や関係団体と連携して情報発信に努めていきたい。



Q5. 本市における三重テラスの活用方法

A5. (答弁:経済環境部長)

本市としても、平成26年度秋頃に、桑名の名所や特産品の展示やパネルによるPRを行いたいと考えており、県と日程の調整を行っている。内容についても、一例とし、桑名の地場産業である鋳物釜を使って炊いたご飯を、時雨茶づけで試食をしてもらったり、桑名の文化を代表する千羽鶴の体験が出来ないか、今後関係団体と協議していく。

(2)フランスアヌシー地域における産業・観光クラスターの連携

Q6. 平成24年第1回定例会一般質問後の進捗状況

A6. (答弁:経済環境部長)

本市としては、アヌシー地域との行き来に参加する機会がなく、特に進展していないのが現状。三重県においては、フランスのほかドイツの自治体とも連携して、県内中小企業の新たな事業展開や販路開拓を図っている。アヌシー地域との活動状況を含め、今後このような情報共有も密にしながら、本市としても関係機関と連携して、市内企業の発展のため取り組んでいきたいと考える。

4. 豊かな人間性を育む人づくり(平成25年度全国体力・運動能力調査結果の県内

公立小・中学校分の公表について)

Q7. 本市の状況と今後の対策

A7. (答弁:教育委員会理事)

本市の状況だが、8種目の実技調査の体力合計点では、小学校においては県とほぼ同等、中学校においては県を上回る結果でした。実技種目別に挙げると、反復横跳びとソフトボール投げは小中学校男女共に国及び県の結果を上回っており、敏捷性や巧緻性、投球能力に強みが見られた。一方、握力、長座体前屈は小中学校男女共に国及び県の結果を下回っており、筋力、柔軟性に弱みが見られた。

柔軟性の改善は、この年代で大変重要なことです。在良小学校で実施している「やわらか体操」を横展開するよう再質問しました。健康寿命を延ばす活動の第一歩は、小・中学校時代からの柔軟性向上が必要と感じました。健康寿命については、この柔軟性が非常に重要なのです。